

QOLの扉を開く

～緑内障患者のための総合的アプローチ～

日時

2024年9月21日(土)
12:00～13:00

会場

第4会場
アクリエひめじ 1F 展示場C

座長



庄司 信行 先生
(北里大学)

緑内障治療の目的は、患者の視覚の質(QOV)と、それに伴う生活の質(QOL)を維持することです。長寿化に伴い緑内障の治療継続が長期化する中で、ますます患者さんのQOLに配慮することが重要になってきます。

本セミナーでは「QOLの扉を開く」と題し、患者さんのQOLを向上・維持するための「鍵」を2つ用意しました。早期発見の「鍵」として、早期発見の重要性、治療開始のタイミングについて庄司拓平先生に、治療継続の「鍵」として、患者さんのQOLを考慮した治療、点眼指導の重要性について谷戸正樹先生にお話しいただきます。お二人のエキスパートの先生方のご講演を通じて、患者さんのQOLを維持するための総合的なアプローチについて一緒に見つめ直す機会にしたいと思います。明日からの診療に役立つ情報を盛り込んだ内容ですので、ぜひ多くの先生方のご参加をお待ちしております。

演者1

早期発見の鍵

庄司 拓平 先生
(埼玉医科大学・小江戸眼科内科)



演者2

治療継続の鍵

谷戸 正樹 先生
(島根大学)



QOLの 扉を開く

～緑内障患者のための
総合的アプローチ～

日時

2024年9月21日(土)
12:00～13:00

会場

第4会場
アクリエひめじ 1F 展示場C

座長

庄司 信行 先生(北里大学)

1988年 新潟大学 医学部 卒業

東京大学 医学部 眼科 入局

1991年 武蔵野赤十字病院 眼科

1997年 武蔵野赤十字病院 眼科 副部長

1999年 北里大学 医学部 講師

2000年 北里大学 医療衛生学部 助教授

2002年 北里大学 医療衛生学部 教授

北里大学大学院 医療系研究科 教授

2016年 北里大学医学部眼科学 主任教授

現在に至る



演者1

早期発見の鍵

庄司 拓平 先生(埼玉医科大学・小江戸眼科内科)

2002年 防衛医科大学校 医学部 卒業

2004年 陸上自衛隊大久保駐屯地医官

千原眼科 医員

2008年 防衛医科大学校病院 専門研修医

2012年 埼玉医科大学 眼科 講師

2016年 米国UCSD ハミルトン緑内障センター 客員研究員

2019年 埼玉医科大学 眼科 准教授

2022年 埼玉医科大学 眼科 客員教授

小江戸眼科内科 院長

現在に至る



演者2

治療継続の鍵

谷戸 正樹 先生(島根大学)

1996年 島根医科大学 医学部 卒業

島根医科大学 医学部 眼科 助手

1999年 京都大学大学院 医学研究科 特別研究学生

2003年 日本学術振興会 特別研究員

京都大学 ウイルス研究所 研究員

2004年 日本学術振興会 特別研究員

オクラホマ大学 ヘルスサイエンスセンター 眼科研究員

2006年 島根大学 医学部 眼科 講師

2014年 松江赤十字病院 眼科部 部長

2018年 島根大学 医学部 眼科学講座 教授

現在に至る

